

レグノウオッチ

取扱説明書

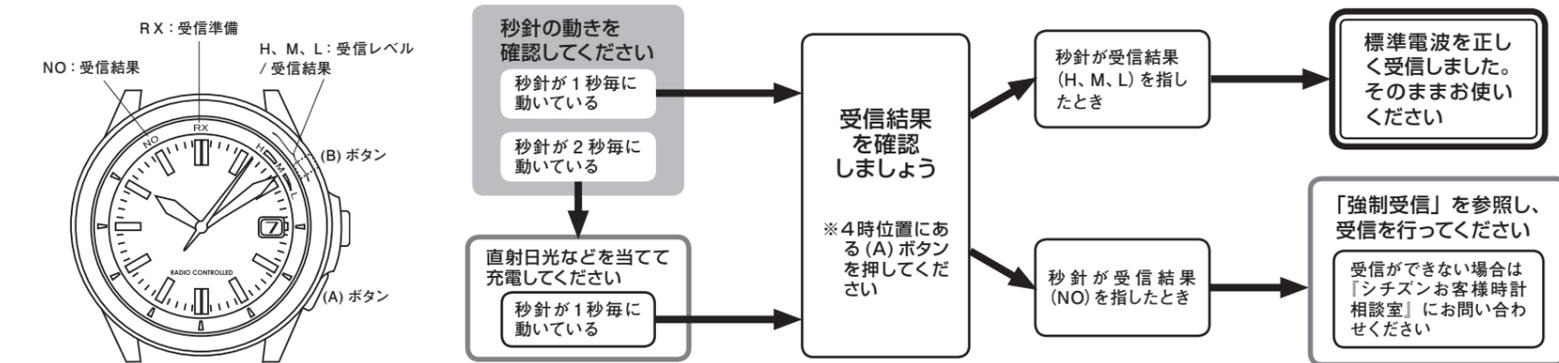
CT072 ③

販売元／保証者 **シチズン時計株式会社**
本社 〒188-8511 東京都西東京市田無町6-1-12

CT072

■この時計は、日本の標準電波を受信する電波時計です。ソーラーテック(ソーラパワー)時計

電波とは、「おおたかどや山標準電波送信所」(福島局：40KHz)と、「はがね山標準電波送信所」(九州局：60KHz)から送信している日本標準時刻の電波のことを指しています。



■標準電波受信について

定時受信

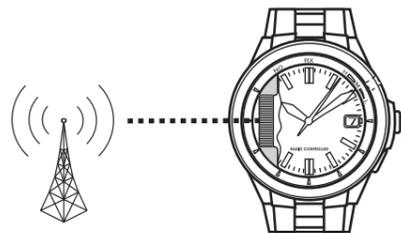
毎日午前2時と4時の決まった時間に、自動的に電波を受信し、時刻やカレンダーを合わせます。

受信の方法

時計を腕から外して、9時位置を電波送信所の方向に向け、窓際等の電波が受信しやすい安定した場所に置いてください。

受信の確認

正しく受信したかどうかは受信後、4時位置にある(A)ボタンを押して受信結果を確認してください。秒針が「H、MまたはL」を指した場合は、受信が正しくできたことをお知らせしています。そのままご使用ください。秒針が「NO」を指した場合は、受信ができなかったことをお知らせしています。強制受信を行ってください。



強制受信 (最大15分かかります)

いつでも、受信できます。受信環境等が変わって、定時受信等ができなかった場合に行ってください。時計を腕から外して、9時位置を電波送信所<おおたかどや山標準電波送信所(福島局)／はがね山標準電波送信所(九州局)>の方向に向け、窓際等の電波が受信しやすい安定した場所に置いてください。強制受信中は時計を動かさしないでください。(最大15分お待ちください。)

受信の手順

- 4時位置にある(A)ボタンを約2秒押し、秒針がRX(12時位置)に移動したことを確認し、指を離してください。
- その後、秒針がRXから受信を示す「H、M、L」に移動します。
※受信できない環境にいたり、「H、M、L」を指さずに1秒運針に移行する場合があります。
- 受信が完了すると、秒針が「H、M、L」から1秒運針に移行します。

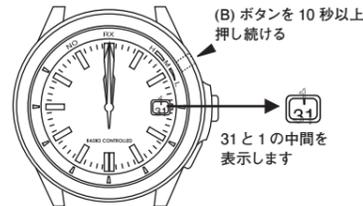


■基準位置の確認と合わせ方

電波を受信しても時計が正しく時刻を表示しない場合は、基準位置の確認を行ってください。時計のすべての基準となる基準位置(0位置/12時位置)がずれている場合は、次の手順で各針の基準位置確認を行ってください。

基準位置の確認方法

- りゅうずは通常位置で(B)ボタンを10秒以上押し、秒針が高速で移動を開始したら離します。
 - 時針が「正転→逆転→正転」のデモンストレーション運針をした後、各針が基準位置(0位置)へ高速(正転または、逆転)で移動し停止します。
 - 時針は日付が「31と1」の中間を表示するまで、運針を続けます。
 - 日付は時針に連動して切り替わり、「31と1」の中間を表示し停止します。
※日付が逆回転(反時計回り)で切替わる場合は「1」を表示する場合があります。
- 基準位置を表示した後、(B)ボタンを押すと、高速で現在時刻にもどります。または、30秒以上ボタン操作、またはりゅうず操作を行わないと自動的に現在時刻にもどります。



各針と日付の基準位置

各針：0時00分00秒
日付：31と1の間

注意

- 各針および日付が基準位置を示さない場合は、基準位置合わせを行ってください。

基準位置の合わせ方

- りゅうずは通常位置で(B)ボタンを10秒以上押し、秒針が高速で移動を開始したら離します。
 - 時針がデモンストレーション運針した後、各針が基準位置へ高速で移動し停止します。
- りゅうずを1段引き位置にし、りゅうずを回して日付を「31と1」の中間に合わせ、時計を12時に合わせます。
 - りゅうずを連続回転(2クリック以上)させると、時計が連続運針します。時針が2回転すると、日付が1日分切り替わります。
 - 日付が「31と1」の中間を表示するまで、時計を連続運針させてください。連続運針を停止する場合は、りゅうずを左右どちらかに回します。
 - 日付が31と1の中間を表示した後、時針が12時を指すまで、りゅうずをゆっくり回してください。
- りゅうずを2段引き位置にし、りゅうずを回して、秒針と分針を00分00秒に合わせます。
 - りゅうずを回転(1クリック)させると秒針が1秒分運針し、秒針に合わせて分針が運針します。りゅうずを右または左に回転させて、「秒針と分針」を00分00秒に合わせます。
 - りゅうずを連続回転(2クリック以上)させると、秒針と分針が連続運針します。連続運針を停止する場合は、りゅうずを左右どちらかに回します。
- りゅうずを通常位置にもどり、(B)ボタンを押します。
 - 各針と日付が高速で現在時刻にもどります。

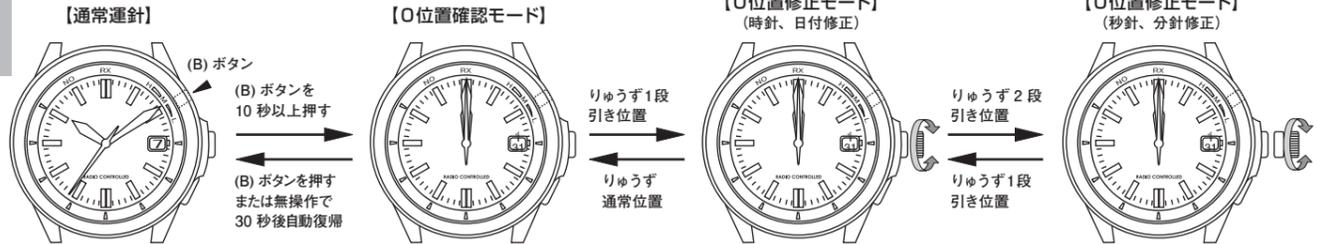
時刻・カレンダーの合わせ方

基準位置が正しいとき、標準電波を受信するだけで時刻・カレンダーを合わせることができます。

※これで基準位置合わせは終了です。基準位置合わせ後は、必ず強制受信を行ってからお使いください。

※電波受信ができず、時刻・カレンダーが合わない場合は、シチズンホームページ「時計の操作ガイド」の操作説明をご覧ください。
URL：<http://citizen.jp/support.html>

基準位置合わせ時のモード切り替え



このたびは、弊社製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いくださいようお願い申し上げます。なお、この取扱説明書は大切に保管し、必要の際にご覧ください。また、シチズンホームページ(<http://citizen.jp/>)の「サポート」→「時計の操作ガイド」→「機種番号」で操作説明をご覧ください。

※モデルによっては外装機能(計算尺、タキメーターなど)が搭載されている場合があります。取扱説明書に記載されていない外装機能の操作については、「時計の操作ガイド」をご覧ください。

機種番号の見かた <刻印の位置の例>

時計の裏ぶたに、4ケタと6ケタ以上からなる番号が刻印されています。(右図)

この番号を「側番号」といいます。側番号の先頭の4ケタが機種番号になります。右の例では「1234」が機種番号です。

安全にお使いいただくために 一必ずお守りくださいー

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

危険 この表示の欄は、「死亡または重傷を負う可能性が高い」内容です。

警告 この表示の欄は、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

注意 この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は、絵表示の一例です。)

このような絵表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」内容です。

このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

■光発電機能について

この時計には、電気エネルギーを蓄えるために二次電池が使われています。一度フル充電すると、通常の使用状態(パワーセーブが作動しないとき)では、約6カ月間、時刻を刻み続けます。なお、パワーセーブが作動しているときは、約2年間となります。

この時計の上手な使い方

この時計を快適にご使用いただくためには、常に余裕を持って充電することを心がけてください。充電は文字板(ソーラーセル面)に直射日光や蛍光灯の光を当てて充電してください。この時計はどんなに充電しても時計が破損することはありません。充電の際は、文字板(ソーラーセル面)に光を当ててください。

時計は常に充電を心がけてお使いください

- 日常長袖などを着用していると、時計が隠れて光に当たらないため、充電不足になりやすいのでご注意ください。特に冬場は、月に一度くらい、時計の文字板面に直射日光を当てて充電することをおすすめいたします。
- 時計を外したときも、できるだけ時計の文字板面に太陽光の当たる窓際等の明るい場所に置くように心がけると、常に充電を続け、時計は正しく動き続けます。

■充電警告機能(秒針が2秒毎に動きます)

ソーラーセルに光が当たらず、二次電池の容量が少なくなると、秒針が1秒運針から2秒運針(充電警告機能)に切り替わり、充電不足をお知らせします。このときも、時計は正確に動いていますが、2秒運針を始めてから約6日経過すると、充電不足で時計は止まってしまいます。すぐに直射日光等を当てて十分充電し、もとの1秒運針にもどしてください。

注意

- 2秒運針しているときは、手動での時刻、カレンダー修正はできません。
- 定時受信、強制受信ともできません。



■パワーセーブ機能について

パワーセーブ

文字板(ソーラーセル)に光が当たらず、発電されない状態が連続して1週間継続した場合は、時計の一部が停止しパワーセーブ(節電機能)状態になります。パワーセーブ中は精度範囲内で時刻を刻んでいます。

パワーセーブの解除

パワーセーブを解除するには文字板(ソーラーセル)に光を当ててください。りゅうず、プッシュボタンでの操作では解除することはできません。

■ソーラーパワーウオッチ充電時間の目安

時計のモデル(文字板の色など)により充電時間は異なります。あくまでも目安としてご利用ください。

照度 lx(ルクス)	環境	充電時間(約) *充電時間は連続照射時間です。		
		1日分の 充電時間	停止状態から 復活自動受信 するまでの時間	フル充電 時間
3,000	蛍光灯(30W)の下20cm	35分	45時間	150時間
10,000	曇天	10分	13時間	45時間
100,000	夏の日の直射日光下	4分	2時間	10時間

フル充電時間………時計が充電不足で停止している状態から最大に充電されるまでの時間。
1日分の充電時間…時計を通常運針で1日動かすのに必要な時間。

注意

フル充電後、一度も充電されないと、持続時間は約6カ月となります。パワーセーブが作動しているときは、約2年間、時刻を刻み続けます。ただし、充電不足で停止してしまうと、表のように時計が動き出すまでに時間がかかりますので、毎日の充電を心がけてご使用ください。なお、月に一度は直射日光を当てて充電されることをおすすめいたします。

■手動による時刻、カレンダー合わせ

この時計は、海外など電波が届かない地域でご使用する場合に、手操作で時刻やカレンダーを合わせることができます。電波が届く地域に戻ったときは、定時受信または強制受信を行ってください。

A. 秒針と分針を修正する手順

《修正手順》

- りゅうずを2段引き位置にします。
 - 秒針が正転または、逆転で0秒位置まで高速運針し停止します。
 - 0秒位置で停止しない場合は、「基準位置の確認と合わせ方」を参照し、「基準位置合わせ」を行ってください。
- りゅうずを回して、「分針」を合わせます。
 - 右に回す(1クリック)と、秒針が時計回りで1回転し、分針が1分運針します。
 - 左に回す(1クリック)と、秒針が反時計回りで1回転し、分針が1分逆転します。
- りゅうずを連続回転(2クリック以上)させると、秒針と分針が連続運針します。
 - 連続運針を停止する場合は、りゅうずを左右どちらかに回します。

- 注意**：●分針に運動して時針も運針するため、秒針と分針を連続運針して時計を合わせることができます。また、時針に運動してカレンダーも切り替わります。
 - 2月30日や4月31日などの非存日は自動的に早送りします。早送り中は秒針と分針が12時で待機し、時針が連続運針し非存日を早送りします。
 - 時報に合わせて、りゅうずを通常位置に戻してください。

B. 月と年(うるう年からの経過年)を修正する手順

《修正手順》

- りゅうずを1段引き位置にします。
 - カレンダーの修正状態になり、秒針が記憶している「月」と「年」の位置に移動し停止します。
 - りゅうずを回して、「月」と「年」を合わせます。
 - 右に回して(1クリック)、「月」と「年」に対応した位置に秒針を合わせます。
 - 左に回す(1クリック)と、秒針が逆転します。
 - りゅうずを連続回転(2クリック以上)すると、秒針が連続運針します。
 - 連続運針を停止する場合は、りゅうずを左右どちらかに回します。
- (例) うるう年の12月の場合：0秒の位置に秒針を合わせます。
うるう年から3年経過した年の4月の場合：23秒(4時と5時の間)の位置に秒針を合わせます。

- 注意**：●りゅうずを1段引きしたときの月と年から、秒針を2周以上回して修正しようとする、秒針が2周回った時点でストップし、自動的にもとの月と年の表示に戻ります。

- 月と年修正後、りゅうずを通常位置に戻してください。秒針が現在時刻に戻り運針を開始します。

《非存日に合わせた場合》

日付を合わせた後、月を変更し日付が非存日になった場合、修正状態からりゅうずを通常位置に戻すと、日付が自動的に翌月の1日に切り替わります。

《月と年の見方》

☆月の見方

1月：1時と2時の間
2月：2時と3時の間
：

12月：12時と1時の間

☆年の見方

うるう年：各月のゾーンの最初の目盛り
うるう年から1年目：各月のゾーンの1目盛り目
うるう年から2年目：各月のゾーンの2目盛り目
うるう年から3年目：各月のゾーンの3目盛り目

《うるう年からの経過年早見表》

年	経過	年	経過	年	経過
2008年	うるう年	2012年	うるう年	2016年	うるう年
2009	1年目	2013	1年目	2017	1年目
2010	2年目	2014	2年目	2018	2年目
2011	3年目	2015	3年目	2019	3年目

C. 時針と日付を修正する手順

- 日付は時針に運動しているため、単独では修正できません。時針を連続運針して切り替えます。
- 時針と日付の修正は(B)ボタンを押し、時針が「正転→逆転→正転」のデモンストレーション運針した後、10秒間または時針修正後、時針が止まってから10秒間修正ができます。10秒間りゅうずまたはボタンいずれの操作も行われないと、自動的に通常表示に戻ります。

《修正手順》

- りゅうずを通常位置にします。
- (B)ボタンを1回押すと、時針がデモンストレーション運針後、「時針」と「日付」の修正状態に移行します。
- りゅうずを連続回転(2クリック以上)させると、時針が連続運針します。時針が2回転すると、日付が1日分切り替わります。当日の日付を表示するまで時針を連続運針させてください。
 - 連続運針を停止する場合は、りゅうずを左右どちらかに回します。
 - 「日付」は午後10時頃から午前3時の間に切り替わります。
 - 「月」が小の月に設定されている場合、「日付」を30日から31日に切り替えても非存日は自動的に送られ、翌月の1日を表示します。
- りゅうずを回して「時針」を合わせます。
 - 右に回す(1クリック)と、時針が1時間分運針(時計回り)します。
 - 左に回す(1クリック)と、時針が1時間分逆転(反時計回り)します。
- りゅうずを連続回転すると、時針が連続運針します。
 - 連続運針を停止する場合は、りゅうずを左右どちらかに回します。

注意：時刻修正するときは、午前、午後に注意して合わせてください。「日付」が切り替わったときが午前0時です。これで手動による時刻とカレンダー合わせは終了です。

- りゅうずがねじロックりゅうずの場合は時針の運針終了後(日付が切り替わっている場合は、日付の切り替わり後)(B)ボタンを押して、あるいは10秒以上経ってからりゅうずを押しながらねじをきちんと締めてください。運針終了後、すぐにりゅうずのねじ締めを行うと、時針と日付の修正状態が継続しているため、時針が運針し時間がずれてしまいます。

《通常ご使用時のカレンダーの切り替わり時間》

- 月と年：1日の0時00分00秒で切り替わります。
- 日付：午後10時頃から午前3時の間に切り替わります。

■ソーラーパワーウォッチ 取り扱い上の注意

⚠ 注意 充電上の注意

- 充電の際に時計が高温になると、故障の原因となりますので高温(約60℃以上)での充電は避けてください。

- 白熱灯、ハロゲンランプなど、高温になりやすい場所での充電
 - ※白熱灯で充電するときは、必ず50cm以上離して時計が高温にならないように注意して充電してください。

- 車のダッシュボードなどの高温になりやすい場所での充電

⚠ 警告 二次電池の取り扱いについて

- お客様は時計から二次電池を取り出さないでください。やむを得ず二次電池を取り出した場合は、誤飲防止のため、幼児の手の届かないところに保管してください。万一、二次電池を飲み込んだ場合には、ただちに医師に相談して治療を受けてください。
- 一般のゴミと一緒に捨てないでください。発火、環境破壊の原因となりますので、ゴミ回収を行っている市町村の指示に従ってください。

⚠ 警告 指定の二次電池以外は使用しないでください

- この時計用の純正二次電池以外は、絶対に使用しないでください。他の種類の電池を組み込んでも、時計は作動しない構造になっていますが、無理に銀電池などの他の種類の電池を使い、万一充電されると、過充電となり、電池が破裂して時計の破損および人体を傷つける危険があります。二次電池を交換の際は、必ず指定の二次電池をご使用ください。

二次電池の交換について

- この時計に使われている二次電池は、充電、放電を繰り返し行えるため、一般の銀電池のように定期的な電池交換の必要はありません。ただし、長期間使用されますと、歯車の汚れ、油切れなどにより電流消費が大きくなり、二次電池の容量が早くなります。定期的な分解掃除(有料)をおすすめします。

■お取り扱いにあたって

⚠ 警告 防水性能について

- ・非防水時計は、水中や水に触れる環境での使用はできません。
- ・日常生活用防水時計(3気圧防水)は、洗顔などには使用できませんが、水中での使用はできません。
- ・日常生活用強化防水時計(5気圧防水)は、水泳などには使用できますが、素潜り(スキンドайビング)やスキューバ潜水などには使用できません。
- ・日常生活用強化防水時計(10/20気圧防水)は、素潜りには使用できますが、スキューバ潜水・ヘリウムガスを使う飽和潜水には使用できません。
- ・時計の文字板および裏ぶたの防水性能表示をご確認の上、右図を参照して正しくご使用ください。
- ・(1barは約1気圧に相当します)
- ・WATER RESIST (ANT) xx bar は W.R. xx bar と表示している場合があります。

⚠ 注意 人への危害を防ぐために

- ・幼児を指くときなどは、幼児のけがや事故防止のため、あらかじめ時計を外すなど十分ご注意ください。
- ・激しい運動や作業などを行うときは、ご自身や第三者へのけがや事故防止のため、十分ご注意ください。
- ・サウナなど時計が高温になる場所では、やけどの恐れがあるため絶対に使用しないでください。
- ・バンドの中留め構造によっては、着脱の際に爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。

⚠ 注意 使用上の注意

- ・りゅうずは常に押し込んだ状態(通常位置)でご使用ください。りゅうずがねじ締めタイプであれば、しっかり固定されているか確認してください。
- ・水分のついたままりゅうず操作をしないでください。時計内部に水分が入り防水不良となる場合があります。
- ・万一、時計内部に水が入ったり、またガラスの内面にクモリが発生し長時間消えないときは、そのまま放置せず、お買い上げ店または、弊社お問い合わせ窓口へ修理、点検を依頼してください。
- ・日常生活用強化防水時計の場合、海水に浸した時や多量の汗をかいた後は、真水でよく洗いきれを取り取ってください。
- ・時計内部に海水が入った場合は、箱やビニールに入れてすぐに修理依頼をしてください。時計内部の圧力が高まり、部品(ガラス、りゅうずなど)が外れる危険があります。

⚠ 注意 携帯時の注意

《バンドについて》

- ・皮革バンドは材質の特性上、水に濡れると耐久性に影響がでる場合があります(脱色、接着はがれ)。また、かぶれの原因にもなります。
- ・皮革バンドの時計は防水時計であっても、水を使うときは時計を外すことをおすすめします。
- ・バンドは多少余裕を持たせ、通気性を良くしてご使用ください。
- ・ウレタンバンドは、衣類等の染料や汚れが付着し、除去できなくなることがあります。色落ちするもの(衣類、バッグ等)と一緒に使用する場合はご注意ください。また、溶剤や空気中の湿気などにより劣化する性質があります。弾力性がなくなり、ひび割れを生じたらお取り替えください。

《温度について》

・極端な高温/低温の環境下では、時計が停止したり、機能が低下する場合があります。製品仕様の作動温度範囲外でのご使用はおやめください。

《静電気について》

- ・クォーツ時計に使われているICは、静電気に弱い性質を持っています。強い静電気を受けると正しい時刻を表示しない場合がありますので、ご注意ください。

《磁気について》

- ・アナログ式クォーツ時計は、磁石を利用した「ステップモーター」で動いており、外部から強い磁気を受けるとモーターの動きがみだされて、正しい時刻を表

名称	表示文字板または裏ぶた	仕様	使用例				
							
非防水時計	－	非防水	×	×	×	×	×
日常生活用防水時計	WATER RESIST (ANT)	3気圧防水	○	×	×	×	×
日常生活用強化防水時計	WATER RESIST (ANT) 5 bar	5気圧防水	○	○	×	×	×
日常生活用強化防水時計	WATER RESIST (ANT) 10/20 bar	10気圧防水20気圧防水	○	○	○	×	×

示しなくなる場合があります。磁気の強い健康器具(磁気ネックレス・磁気健康腹巻など)、冷蔵庫のマグネットドア、バッグの留め具、携帯電話のスピーカー部、磁気調理器などに近づけないでください。

《ショックについて》

- ・床面に落とすなどの激しいショックは与えないでください。外装・バンドなどの損傷だけでなく機能、性能に異常を生じる場合があります。

《化学薬品・ガス・水銀について》

・化学薬品・ガスの中でのご使用は避けください。シンナー・ベンジン等の各種溶剤及びそれらを含有するもの(ガソリン・マニキュア・クレゾール・トイレ用洗剤・接着剤・検水剤など)が時計に付着しますと、変色・溶解・ひび割れ等を起こす場合があります。薬品類には十分注意してください。また、体温計などに使用されている水銀に触れたりしますと、ケース・バンド等が変色することがありますのでご注意ください。

⚠ 注意 時計は常に清潔に

- ・りゅうずやプッシュボタンを長期間動かささないままにしていると、付着しているゴミや汚れが固まり、操作できなくなることがありますので、ときどきりゅうずを空回りさせたり、プッシュボタンを押してください。また、ゴミ、汚れを落とすしてください。
- ・ケースやバンドは、肌着類と同様に直接肌に接しています。金属の腐食や汗、汚れ、ほこりなどの気づかない汚れで衣類の袖口などを汚す場合があります。常に清潔にしてご使用ください。
- ・ケースやバンドは直接肌に接しています。ケースやバンドに発生したサビ、汚れ、付着した汗、または金属、皮革アレルギーなどにより皮膚にかゆみ・かぶれを生じる場合があります。異常を感じたら、すぐに使用を中止して医師に相談してください。
- ・皮革バンドは汗や汚れにより「色落ち」を起こすことがあります。乾いた布で拭くなどして常に清潔にご使用ください。

⚠ 注意 時計のお手入れ方法

- ・ケース・ガラスの汚れや汗などの水分は、柔らかい布で拭き取ってください。
- ・金属バンド・プラスチックバンド・ゴムバンドは水で汚れを洗い落としてください。金属バンドのすき間につまったゴミや汚れは柔らかいハケなどで取り除いてください。
- ・時計を長時間ご使用にならないときは、汗・汚れ・水分などをよく拭き取り、高温・低温・多湿の場所を避けて保管してください。

《夜光について》

時計の文字板や針には、放射線物質などの有害物質を一切含まない、人体や環境に安全な物質を使用した蓄光塗料が使用されています。この塗料は太陽光や室内照明(白熱灯を除く)などの光を蓄え、暗い所で発光します。蓄えた光を放出させるため、時間の経過とともに少しずつ明るさ(輝度)は落ちていきます。光を蓄えるときの光の明るさや光源からの距離、光の照射時間などによって発光する時間に差異が生じます。光が十分に蓄えられていないと、暗い所で発光しなかったり、発光してもすぐに暗くなってしまう場合があります。ご注意ください。

■製品仕様

- 機種：H41*
- 型式：アナログソーラーパワーウォッチ
- 時間精度：平均月差±15秒(非受信時)

常温(＋5℃～＋35℃)携帯時

- 作動温度範囲：－10℃～＋60℃
- 表示機能：●時刻：時、分、秒(時計は2分毎に運針します。)
 - 日付
- 付加機能：●電波受信機能(定時受信、強制受信、復活自動受信)
 - 受信局自動選択機能(日本標準電波専用)
 - 受信準備表示機能(RX)
 - 受信中レベル表示機能(H、M、L)
 - 受信結果確認機能
 - 光発電機能
 - パワーセーブ機能
 - 充電警告機能

- 持続時間：●フル充電後、充電しないで時計が停止するまで：
 - ：約2年(パワーセーブが作動しているとき)
 - ：約6カ月(パワーセーブが作動しないとき)
 - 充電警告表示～充電不足で時計が停止するまで：約6日

- 使用電池：二次電池(ボタン型リチウム電池) 1個

*製品仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

メモ欄